

## 国際女性会議WAW!とは？

- WAW!(読み方:「ワウ!」)は、World Assembly for Womenの略称です。
- 本会議は、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントという日本政府の最重要課題の1つを国内外で実現するための取組の一環として開催される国際会議です。2014年以降、これまでに5回開催し、幅広い分野において世界の第一線で活躍する方々を招き、日本や世界が直面する様々な課題を議論してきました。

本年のWAW!(WAW!2022)も、岸田総理大臣のイニシアティブにより、**12月3日(土)**に2024年以降の新札の顔となる**渋沢栄一の邸宅跡地である三田共用会議所**で開催します。また前後2ヶ月は**WAW!ウィークス(WAW! Weeks)**と名付けられ、様々な公式サイドイベント等が開催される予定です。

## WAW! 2022のテーマ

WAW!2022のメイン・テーマは、「**WAW! for Mainstreaming Gender into a New Form of Capitalism 新しい資本主義に向けたジェンダー主流化**」です。新型コロナの長引く影響やウクライナ情勢等に端を発する経済的・社会的不安定さは、既存のジェンダー不平等を一層浮き彫りにしました。国際社会において、ジェンダー平等の重要性が再認識されている中で、より良い社会作りに向けて意見を交換します。

会議では、5つのサブ・テーマ(「新しい資本主義と女性」、「女性の尊厳と誇りを守る社会の実現」、「男性の関心・関与の拡大」、「意思決定プロセスへの女性の参画」、「女性の平和・安全保障への参画」)を設定します。さらに、全テーマを通じて次世代の若者たちのジェンダー平等の議論への参画や地方の問題にも焦点を当てていきたいと考えています。

※これまでのWAW!の取組については、外務省HP([https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/pc/page23\\_002346.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/pc/page23_002346.html))をご覧ください。

※WAW!ウィークスの詳細は、外務省HP([https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/hr\\_ha/page22\\_003905.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/hr_ha/page22_003905.html))をご覧ください。



写真:スピーチをする岸田文雄外務大臣(当時)



写真:WAW!開催を担う森まさこ総理補佐官(女性活躍担当)

## これまでのWAW! 開催実績 (※参加国数・人数は日本人登壇者を含む)

### ■第1回WAW! (2014年9月12日、13日)

**テーマは「女性の力を成長の源泉に」**。ラガルドIMF専務理事をはじめ、女性分野で活躍するトップ・リーダー94名が28か国から出席し、経済における女性の活躍促進、グローバルな課題と女性のイニシアティブ等について議論。

### ■第2回WAW! (2015年8月28日、29日)

**テーマは「WAW! For All」**。サーリーフ・リベリア大統領（ノーベル平和賞受賞）をはじめとするオピニオン・リーダー154名が47か国から参加し、ワーク・ライフ・マネジメント、男性の関与、シングルマザー、理系女子、防災、起業、教育、平和構築、ODA支援等、若者、女性を取り巻く課題について幅広い切り口から議論。

### ■第3回WAW! (2016年12月13日、14日)

**テーマは「WAW! For Action」**。インスタグラムCOOレヴィーン氏を含む各界のトップリーダー102名が27か国から集まり、女性のリーダーシップやワーク・ライフ・マネジメント、理系分野における女性の活躍推進、女性の健康、女性・平和・安全保障、地方創生について議論。また、前回に引き続き、ユース・テーブルを設け、若者からも発信。

### ■第4回WAW! (2017年11月1日、2日、3日)

**テーマは「WAW! in Changing World」**。イバンカ米国大統領補佐官やゲオルギエヴァ世界銀行CEOといった各界のトップ・リーダー66名が22か国から集まり、企業におけるジェンダー分野の取組、技術革新と女性、無償労働の再分配、女性・平和・安全保障、メディアと女性、若者と女性活躍の未来、自然災害と女性、女性起業家支援について議論。

### ■第5回WAW! (2019年3月23日、24日)

**テーマは「WAW! For Diversity」**。W20と同時開催し、マララ・ユスフザイ・ノーベル平和賞受賞者やバチエレ国連人権高等弁務官、ミケティ・アルゼンチン副大統領、7カ国の女性外相（パナマ、ドミニカ国、ホンジュラス、ブルガリア、クロアチア、グアテマラ、オーストリア）等、28カ国から計98人が登壇。技術革新と人材育成、地方活性化と雇用創出、多様性を育てるメディアとコンテンツ、女性の参画と紛争予防・平和構築・復興、多様性と企業経営、家族の未来等について議論。

# 国際女性会議WAW！2022（タイムライン）

- WAW！2022では、特に「**新しい資本主義と女性**」に焦点を当て、個々の論点につき分科会で議論する予定。
- 具体的には、午前に「新しい資本主義と女性」（5つのセッションに深掘り）、午後に残りの4テーマに関する議論を行うこととし、テーマ毎にラウンド・テーブル形式で登壇者、参加者が意見交換を行う。
- 午後の分科会では、例年同様「ユース・セッション」を設け、若者が提言・発信を行う機会を作る。

【参考】当日のタイムライン（案） ※時間付けはとりあえずのもの。各テーマについては、今後変更の可能性あり。

9:00-9:15(15分)	開会挨拶:岸田総理ご登壇
9:15-9:45(30分)	基調講演:ヨハネソン・アイスランド大統領(他1名予定)
9:45-10:45(60分)	ハイレベル・ラウンド・テーブル(新しい資本主義に向けたジェンダー主流化)
10:45-11:15(30分)	休憩・移動
11:15-12:45(90分)	分科会1:「男女間の賃金格差の是正」 分科会2:「女性と環境・グリーン社会～脱炭素化をジェンダーの視点から考える」 分科会3:「女性とデジタル・STEM教育」 分科会4:「男性の関心・関与の拡大」 分科会5:「意思決定プロセスへの女性の参画」 特別セッション:「女性と地方:WAW!版車座」
12:45-13:00(15分)	移動・準備
13:00-14:30(90分)	昼休憩
14:30-16:00(90分)	分科会6:「女性とスタートアップ～女性が起業することの意味」 分科会7:「女性の尊厳と誇りを守る社会の実現」 分科会8:「女性の健康と経済」 分科会9:「女性の平和・安全保障への参画」 分科会10:「女性と防災」 特別セッション:「若者たちの声を聴く:未来への提言」①日本語セッション/②英語セッション
16:00-16:20(20分)	休憩・各セッションの取りまとめ
16:20-17:10(50分)	クロージング・セッション(各セッションからの報告、W7立ち上げ報告)
17:10-17:20(10分)	閉会挨拶